

## 研究指導教員の決定方法について

化学工学分野 博士前期課程

### ■研究指導教員の役割

1. 研究指導教員は、研究指導教員の専門分野、学生の希望する研究課題、指導環境などを考慮し、学生の同意を得た上で研究課題を決定し、研究を指導する。
2. 研究指導教員は、研究指導に加え、学生の教育・研究に必要な授業科目について、シラバスと履修モデルを参考にして個々の学生を指導する。
3. また、研究指導教員は学生の進路に関し、助言する。
4. 研究指導教員は、学生の希望に基づき学生ごとに1名を決定する。

### ■研究指導教員の決定プロセス

大学院博士前期課程入学者の研究指導教員の決定のプロセスは以下のとおりとする。

1. 博士前期課程志願者は、募集要項の担当教員表等をもとに、事前に希望する教員への研究室訪問や面談を行い、出願書類の志望理由書に「入学後の研究希望内容」を記載する。
2. 出願書類をもとに、分野教授会において研究指導教員を入学時まで決定し、志願者に通知する。志願者の希望を受け入れることが困難な場合、関連する研究分野の教員と学生が面談を行い、志願者の希望を再度確認した上で研究指導教員を決定する。
3. 通常、入学前の3月中旬までに指導教員を決定し、個別にメール等にて連絡する。
4. なお、研究の進捗等に応じ、研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）を変更することがある。

### ■副指導教員制度

1. 副指導教員は、研究指導教員と協力して学生の研究指導を補助的に行う教員とする。
2. 副指導教員は、上記に加え、研究指導教員の指導についての相談や調整を行う。
3. 副指導教員は、必要に応じて学生の希望に基づき学生ごとに1名又は2名を決定する。

### ■研究指導計画

化学工学分野における研究指導計画は、以下の1~9のとおりである。研究指導教員は学生の研究指導を行うにあたり、化学工学分野研究指導計画書記入例を明示し、毎年度の初めに、学生の1年間の研究計画についての打合せを学生と十分に行った上で、以下に沿って、研究指導を行うものとする。学生の研究指導計画の詳細は、学生の研究計画を確認した上で作成し、明示する。

1. 研究計画の立案（1年次4月~5月）
  - (1) 学生は、決定した研究課題に関して先行研究の整理、仮説の設定を行い、研究計画を立案し、研究指導計画書としてまとめる。研究指導教員（必要に応じて

副指導教員を含む) は、研究指導計画書を確認する。

(2) 研究指導教員 (必要に応じて副指導教員を含む) は、学生が研究計画を立案するに当たって、研究方法・文献検索方法・文献読解方法などを指導する。

2. 研究の遂行 (1 年次 5 月～2 年次 12 月)

(1) 学生は、研究計画に従って研究を遂行し、得られた結果をまとめ、研究指導教員 (必要に応じて副指導教員を含む) に定期的に報告する。

(2) 研究指導教員 (必要に応じて副指導教員を含む) は、研究の進行を確認しつつ、実験・調査方法、結果のまとめ方、および、考察の仕方などを指導する。

3. 研究経過の中間報告

修士研究の経過について、分野全体の中間報告会を実施することがある。その際、研究指導教員以外の分野教員からも指導や助言を受ける。

4. 研究指導報告書の作成 (2 年次 12 月～3 月)

研究指導報告書は、学生が記入する研究実施報告 (研究指導計画に沿って、進捗状況、実績、成果等を記載) と指導教員が記入する研究指導報告 (学生の取組み状況、指導内容、指導結果、指導計画の変更等を記載) から構成される。学生は研究実施経過を記入のうえ、研究指導教員に提出する。研究指導教員 (必要に応じて副指導教員を含む) は、学生からの研究実施報告を確認の上で、学生と十分な相談・打合せを行い、研究指導実施報告を確認する。

5. 修士論文の作成 (2 年次 12 月～2 月)

(1) 学生は研究成果をもとに修士論文の作成を開始し、研究指導教員 (必要に応じて副指導教員を含む) のもとで修士論文をまとめる。

(2) 研究指導教員 (必要に応じて副指導教員を含む) は、修士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。

6. 学位授与申請 (2 年次 1 月～2 月)

学生は修士論文要旨などを指定した期日までに提出する。

7. 修士論文発表会 (2 年次 2 月～3 月)

修士研究で得られた成果について、発表会 (秘密会) を実施する。発表会では、分野教員から指導や助言を受ける。

8. 修士論文の提出 (2 年次 2 月～3 月)

学生は修士論文や要旨を指定した期日までに提出する。

9. 修士論文の審査 (2 年次 2 月～3 月)

学位論文審査委員 (主査、副査) を決定し、修士論文、要旨、および修士論文発表会の内容を審査し、工学研究科教授会 (運営委員会) に提出し、承認を得る。

## 研究指導教員の決定方法について

化学工学分野 博士後期課程

### ■研究指導教員の役割

1. 研究指導教員は、研究指導教員の専門分野、学生の希望する研究課題、指導環境などを考慮し、学生の同意を得た上で研究課題を決定し、研究を指導する。
2. 研究指導教員は、研究指導に加え、学生の教育・研究に必要な授業科目について、シラバスと履修モデルを参考にして個々の学生を指導する。
3. また、研究指導教員は学生の進路に関し、アドバイスする。
4. 研究指導教員は、学生の希望に基づき学生ごとに1名を決定する。
5. 副指導教員は主任指導教員を補佐する。

### ■研究指導教員の決定プロセス

大学院博士後期課程入学者の研究指導教員の決定のプロセスは以下のとおりとする。

1. 博士後期課程志願者は、募集要項の担当教員表等をもとに、事前に希望する教員への研究室訪問や面談を行い、出願書類の入学願書に「指導を希望する教員名」、志望理由書に「入学後の研究希望内容」を記載する。
2. 出願書類をもとに、分野教授会において研究指導教員を入学時まで決定し、志願者に通知する。志願者の希望を受け入れることが困難な場合、関連する研究分野の教員と学生が面談を行い、志願者の希望を再度確認した上で研究指導教員を決定する。
3. 通常、入学前の3月中旬までに指導教員を決定し、個別にメール等にて連絡する。
4. なお、研究の進捗等に応じ、研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）を変更することがある。

### ■副指導教員制度

1. 副指導教員は、研究指導教員と協力して学生の研究指導を補助的に行う教員とする。
2. 副指導教員は、上記に加え、研究指導教員の指導についての相談や調整を行う。
3. 副指導教員は、必要に応じて学生の希望に基づき学生ごとに1名又は2名を決定する。

### ■研究指導計画

化学工学分野における研究指導計画は、以下の1~8のとおりである。研究指導教員は学生の研究指導を行うにあたり、化学工学分野研究指導計画書記入例を明示し、毎年度の初めに、学生の1年間の研究計画についての打合せを学生と十分に行った上で、以下に沿って、研究指導を行うものとする。学生の研究指導計画の詳細は、学生の研究計画を確認した上で作成し、明示する。

1. 研究計画の立案（1年次4月～5月）

- (1) 学生は、決定した研究課題に関して先行研究の整理、仮説の設定を行い、研究計画を立案、研究指導計画書としてまとめる。研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）は、研究指導計画書を確認する。
  - (2) 研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）は、学生が研究計画を立案するに当たって、研究方法・文献検索方法・文献読解方法などを指導する。
2. 研究の遂行（1年次5月～3年次10月）
  - (1) 学生は、研究計画に従って研究を遂行し、得られた結果をまとめ、研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）に定期的に報告する。
  - (2) 研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）は、研究の進行を確認しつつ、実験・調査方法、結果のまとめ方、および、考察の仕方などを指導する。
3. 研究経過の中間報告  
博士研究の経過について、分野全体の中間報告会を実施することがある。その際、研究指導教員以外の分野教員からも指導や助言を受ける。
4. 研究指導報告書の作成（3年次12月～3月）研究指導報告書は、学生が記入する研究実施報告（研究指導計画に沿って、進捗状況、実績、成果等を記載）と研究指導教員が記入する研究指導報告（学生の取組み状況、指導内容、指導結果、指導計画の変更等を記載）から構成される。学生は研究実施経過を記入のうえ、研究実施報告を研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）に提出する。研究指導教員（必要に応じて副指導教員を含む）は、学生からの研究実施報告を確認の上で、学生と十分な相談・打合せを行い、研究指導実施報告を確認する。
5. 博士論文の作成（3年次10月～12月）  
学生は研究成果をもとに博士論文の作成を開始し、研究指導教員のもとで博士論文をまとめる。
6. 博士論文の予備審査  
博士研究で得られた成果に応じ、主査候補教授1名と副査候補教授2名以上を決定する。主査および副査候補は博士論文の提出まで予備審査を実施し、問題点を指導、助言する。
7. 学位授与申請（3年次1月～2月）  
学生は博士論文や要旨などを指定した期日までに提出する。
8. 学位論文の審査（3年次1月～3月）  
学位授与の申請が受理されたとき、工学研究科教授会（運営委員会）で、学位論文審査委員会を設置する。学位論文審査委員会は、学位論文を審査するとともに、公聴会や最終試験を実施する。